



議会だより つしま

No.20

2023

5月

令和5年

私たちはこの笑顔を守ります



「豆穀の里ロードレース」

もくじ

- ★第1回臨時会・第1回定例会のあらまし…2
- ★各部(局)の重点事業紹介…11
- ★常任委員会審査報告…3
- ★老岐市議会と合同で要望活動・議会広報編集特別委員会行政視察 12
- ★第1回定例会一般質問 4~10
- ★所管事務調査報告…13~14
- ★新年度予算可決・予算総括表 10
- ★編集後記 ……14

発行：対馬市議会

編集：対馬市議会広報編集特別委員会
〒817-1201

長崎県対馬市豊玉町仁位380番地
TEL 0920-58-1379 FAX 0920-58-1018
E-mail t_gikai@city-tsushima.jp



令和5年第1回対馬市議会臨時会の概要

令和5年第1回臨時会が2月3日に開かれ、2件の提出議案について審議され、全件可決されました。

- 令和4年度対馬市一般会計補正予算（第10号）
- 工事請負契約の締結について

【議案】



令和5年第1回対馬市議会定例会の概要

令和5年第1回定例会が2月21日から3月15日（23日間）の日程で開かれ、38件の提出議案について審議されました。

一般質問は13人が登壇し、活発な議論が展開されました。

主な議案

<p>予算案 13件</p> <p>(令和4年度対馬市一般会計補正予算(第11号) ほか)</p>	➔	全件 可決
<p>条例案・条例改正案 13件</p> <p>(対馬市企業版ふるさと応援基金条例 ほか)</p>	➔	全件 可決
<p>議決案 8件</p> <p>(湯多里ランドつしまの指定管理者の指定について ほか)</p>	➔	全件 可決
<p>同意案 1件</p> <p>(教育委員会委員の任命について)</p>	➔	同意
<p>諮問案 2件</p> <p>(人権擁護委員候補者の推薦について)</p>	➔	全件 同意
<p>決議案 1件</p> <p>(盗難仏像の早期返還を求める決議)</p>	➔	可決

※ 議案、審議結果は対馬市議会ホームページに掲載しています。

議案



審議結果



第2回定例会のお知らせ

令和5年第2回定例会は、6月下旬に開催を予定しています。
※日程は、議会運営委員会で協議された後、ケーブルテレビ、議会ホームページに掲載しますので、ご確認ください。



常任委員会審査報告

総務文教常任委員会

委員長 上野 洋次郎

◎付託された案件(5件)

- ① 令和4年度対馬市一般会計補正予算(第11号)
- ② 令和5年度対馬市旅客定期航路事業特別会計予算
- ③ 対馬市企業版ふるさと応援基金条例
- ④ 対馬市個人情報保護法施行条例
- ⑤ 湯多里ランドつしまの指定管理者の指定について

◎審査内容

○総務費、衛生費、消防費、教育費、公債費、諸支出金に係る補正予算が計上され、地方バス路線維持費補助金、教職員住宅解体工事に係る委託料・工事費について、令和5年度の渡海船の運航に係る事業費等について審査を行いました。

また、対馬市企業版ふるさと納税において、寄附事業者の意向を踏まえながら総合戦略に掲げる主要施策等の実施のため基金を設置する条例や、改正個人情報保護法の施行に關して必要な事項を規定した条例、美津島町雑知の「湯多里ランドつしま」の指定管理者の指定について審査を行いました。



厚生常任委員会

委員長 小田 昭人

◎付託された案件(5件)

- ① 令和4年度対馬市一般会計補正予算(第11号)
- ② 令和5年度対馬市診療所特別会計予算
- ③ 令和5年度対馬市国民健康保険特別会計予算
- ④ 令和5年度対馬市後期高齢者医療特別会計予算
- ⑤ 令和5年度対馬市介護保険特別会計予算

◎審査内容

○総務費、民生費、衛生費に係る補正予算が計上され、(仮称)豊玉認定こども園周辺整備工事費、塵芥処理施設の保守点検委託料、し尿処理施設の運転管理委託料、雑知保育所空調設備整備事業費について審査を行いました。

また、令和5年度の市立診療所の運営を円滑にするための予算を計上した対馬市診療所特別会計等、所管する4つの特別会計予算について審査を行いました。



産業建設常任委員会

委員長 春田 新一

◎付託された案件(5件)

- ① 令和4年度対馬市一般会計補正予算(第11号)
- ② 令和5年度対馬市集落排水処理施設特別会計予算
- ③ 令和5年度対馬市水道事業会計予算
- ④ あがたの里の指定管理者の指定について
- ⑤ 工事請負契約の締結について

◎審査内容

○農林水産業費、商工費、土木費、教育費、災害復旧費に係る補正予算が計上され、農地集積・集約化対策事業費補助金、海山交流事業補助金、市道尾浦浅藻線改良工事費について、令和5年度の集落排水処理施設事業及び水道事業運営に係る予算について審査を行いました。

また、上県町佐須奈の「あがたの里」の指定管理者の指定について、工期を令和7年11月28日までとする市道尾浦浅藻線道路改良工事の工事請負契約の締結について審査を行いました。



第1回定例会一般質問

市政を問う



入江 有紀議員

◆子どもの貧困、女性の貧困について

(入江) 現在、子どもと女性の貧困者数は何名か。行政は把握しているか。貧困者に対して行政はどのような対応をしているか。

(市長) 市の取組としては、貧困者ではなく生活困窮者ということで対応している。生活困窮者自立支援事業において、生活困窮相談を受けている世帯のうち、18歳以下の子どもがいる世帯は7世帯で13人となっている。(入江) 現在、子どもの貧困者数は579人。今の子どもの貧困は大人にすごい影響を及ぼし、30年後の社会を回していくのはこの子たちである。子どもたちが元気で頑張ってくれば私たちの老後も安心である。行政が把握して子どもや女性の貧困を救ってやれないか。

◆介護施設の整備について

(入江) 第9期介護保険計画で

300人以上の入居待ちに対して、どのような施設整備を予定しているか。

(市長) 現時点での待機者は288名ほどいる。施設を整備することによって介護保険料に跳ね返ってくるため、慎重に判断する必要がある。

(入江) グループホーム(2ユニット)を整備したところで300円跳ね返るくらいである。入居待ちをして介護している苦勞も考えて第9期介護保険計画で是非、整備をお願いしたい。

◆定住者支援住宅について

(入江) 移住者が来たくても住むところがない状況であるが、現在の9戸から増やすことはできないか。修理費のかかる物件は住宅にしないという答弁で、移住者も長崎県では対馬は6番目である。これでは移住者も増えないと思う。

(市長) 今、検討しているのは、お試し住宅を定住支援住宅に用途変更する協議を進めている。定住者支援住宅にするには、市の所有にしなければならぬため、県と価格交渉中で、早い時期に補正予算に計上できるように努力する。



糸瀬 雅之議員

◆教育行政について

(糸瀬) 対馬市内中学校の部活動(運動部・文化部)の地域移行体制を今後どのように進めていくのか。

(教育長) 昨年9月に対馬市部活動の在り方に関する検討委員会を設置し、現在まで3回の委員会を開催し協議を続けており、昨年10月には市内の小学5年生から中学2年生、その保護者、中学校の教職員を対象にアンケートを実施した。その結果等を踏まえ今年度中に4回目の検討委員会を開催し、提言をまとめた。その後、令和5年度からの準備期間を経て、令和8年度以降の完全移行に向けて協議を進めていく。

(糸瀬) 特別支援学級等に従事している介助員の業務、給与について。

(教育長) 現在、小学校に47名、中学校に11名の介助員を設置しており、日額会計年度任用職員として業務を行っている。

(糸瀬) 今、介助員不足の要望

が一部の学校からあがっているが、採用時の交通費の手当がないのが人材不足の要因と考えられるので、日額会計年度任用職員全ての方に交通費の手当を検討してほしい。

◆福祉行政について

(糸瀬) 対馬島内高齢者施設の介護職員の人材不足について。(市長) 本市においても喫緊の課題であると認識しており、若い介護職員が伝道師となり、小・中学校に介護講座や職場体験、お仕事説明会、対馬ぐらしフェア等へ参加し、介護の仕事PR活動を行っている。

◆対馬市消防職員の中途退職者について

(糸瀬) 対馬市消防職員の中途退職者が増加傾向にあるが、問題点と今後の改善策について。

(市長) 中途退職者の要因として家庭の事情、島外出身職員の採用後の地理的環境、人員不足による休暇が取りにくい状況などが考えられるため、今後は消防職員委員会という協議の場が設けられているので、勤務条件や施設整備など職員の意見や要望を聞き、少しでも良い条件での勤務環境を整えられるよう、努める部分から徐々に改善に努めていきたい。

第1回定例会一般質問

市政を問う



小島 徳重議員

◆幼稚園教育の充実について

(小島) 各幼稚園の園児数が激減している。園児数増加の方策が必要ではないか。

(教育長) 一時預かり保育事業の活用等が考えられる。しかし、比田勝こども園の状況からすると、利用者増加の見込は少ない。また、各園では異学年交流等教育課程の工夫もしている。今後は、統廃合も視野に入れていかなければならない。

(小島) 共働き家庭が増加する状況で、入園者が増加するためには給食と延長保育（預かり保育）の実施が必要。延長保育は全国的には87・8%の幼稚園・こども園で実施されている。

(教育長) 給食の実施には新たな施設の改修等が必要。

(市長) 給食が実施されていないことは、今後の課題。

(小島) 幼稚園統合の選択は外すべき。

◆子育て支援の充実について

(小島) 対馬市においても全て

の小学校区に「放課後児童クラブ」か「放課後子ども教室」を設置すべきではないか。

(市長) 児童クラブは5事業者による6施設、子ども教室は3小学校区で実施。子ども教室は、新たな開設希望がない。今後は、PTAや育成会等の団体等への説明や人材発掘の呼びかけ等、積極的に取り組む。

(小島) 全小学校に設置すると、この国の方針を推進すべき。

(市長) 多くのニーズがあれば、子育ての一環として検討する。

◆保育士の働き方改革および研修について

(小島) 保育士の働き方改革・研修をどのように進めているか。

(市長) 労働環境の改善が保育の質の向上につながるという認識のもと、慢性的な人材不足の解消に取り組んでいる。業務をシステム化し、効率化および時間外労働の短縮を図った。来年度は、保護者とのコミュニケーションを円滑に行うためのツールとして、新たなシステムを導入する予定。実務研修は、対馬保育会が実施している研修会等へ可能な限り参加できる体制づくりに努めている。



春田 新一 議員

◆行政全般について

(春田) 地域老人クラブの意義は。

(市長) 地域を基盤とする高齢者の自主的な組織であり、高齢者が互いに支え合い、社会奉仕活動に積極的に参加、参画し、豊かな地域づくりには不可欠な存在と認識している。

(春田) 行政の取組は。

(市長) 社会福祉協議会と連携し、活動などに係る情報提供や助言等を行っており、老人クラブへの補助金の交付を通じて老人クラブ活動等により一層の活性化を図り、明るい長寿命化社会の実現と保健・福祉の向上を図っていく。

(春田) 高齢者の健康寿命の延伸の取組は。

(市長) 介護予防自主グループを市内各地域において育成・支援することを目的に、運営費等の助成と保健師等専門職による支援を実施している。

(春田) 人材確保と人材育成の各部署の取組は。

(市長) 農業次世代人材投資を活用して農業の技術や経営指導等、人材育成を支援している。

林業の星スキルアップ研修事業として、木材業・製材業登録者が業務上必要な資格および免許取得に必要な経費の補助を行っている。人口減少が進む本市において、人材確保の問題は難しい問題であるが、様々なツールや機会を用いながら人材確保および育成に取り組んでいく。

(春田) 台風時における避難港の浜久須港、大増湾ともに気候変動による大雨で河川からの土砂流失により湾内は浅くなっている。全体的な浚渫はできないか。

(市長) 浜久須港については、地元漁船はもとより、避難船が接岸していることから、定期的な調査により観察を継続していく。大増湾は県管理の港湾であるため、港湾区域内の土砂除去については、堆積土砂の状況を調査し、緊急性が高いと判断される箇所について対応を検討していくとのことである。

第1回定例会一般質問

市政を問う



小宮 教義議員

◆元市職員約6000万円横領問題等について

(小宮) 発覚から約1年、裁判の進捗状況について。

(市長) 刑事裁判は2月16日、第5回公判で懲役5年6カ月を求刑。判決言い渡しは3月16日の公判で行われ、判決を言い渡した日の翌日から14日が過ぎて、上訴がなければ刑が確定する。民事訴訟は昨年11月2日、被告に約6000万円支払の判決が確定している。

(小宮) 対馬観光活性化協議会の責任について。

(市長) 令和4年9月の第3回定例会で説明したとおり、事件解決までは会を存続させ、今の役員が責任をもって役員の任務を負うことで対応を行っていく。協議会の謝罪文については、市ホームページに掲載している。今後はケーブルテレビ等での謝罪も検討したい。



陶山 荘太郎議員

◆対馬市の空家対策について

(陶山) 空家対策の現状について。
(市長) 平成30年度調査で3千棟の空家が確認されている。相談があった場合は、空き家バンクへの登録、改修工事や家財道具などの処分費用への助成制度および、シルバー人材センターによる管理事業の情報を提供している。また、管理不全な空家は、所有者に適正管理を行うよう通知している。

(陶山) 空家等対策特別措置法改正に伴う今後の方針について。
(市長) 危険が予見される管理不十分な空家は、住宅用地の固定資産税課税標準特例を除外するなど、所有者の自発的な取組を促す対策および、立地適正化計画などによる空家の抑制や利活用・解体・除却に係る総合的な対策を検討していく。

(陶山) 重点対策地域の指定および、NPOによる助言制度等の創設は。

(市長) 改正法の内容を確認し、担当部局間の連携を図りながら、今後の対策を練り上げる。

◆地域における社会教育の充実とコミュニティ・スクールの推進について

(陶山) 対馬市の社会教育団体の現状と課題について。

(教育長) 教育委員会は、PTA連合会をはじめ、主に7団体等と支援および、連携を図っている。各団体は、それぞれの目的に応じた各種事業に取り組んでいるが、会員数減少や役員の人選および、多くの役員は任期が1年と短く、活動の活性化が困難という課題がある。

(陶山) コミュニティ・スクールの推進要領と市長部局との連携について。

(教育長) 現在の佐須奈小中学校1校に加えて、令和6年度に厳原地区と峰地区の小学校2校、中学校2校にコミュニティ・スクールを設置。設置前の1年間の準備期間とし、教育委員会事務局職員が学校に出向き説明を行うとともに、市長部局と連携して円滑な設置を進めていく。その後、1年間に4校から6校を設置し、令和10年度までに全校設置を完了したい。

(陶山) コミュニティ・スクールの運営に各社会教育団体が積極的に参画し、組織の活性化が図れればよい。最後に、地域マナージャーを運営に参画させられないか市長に伺う。

(市長) 今後、関係者および、担当部局とも協議・連携しながら検討する。

第1回定例会一般質問

市政を問う



作元 義文議員

◆観音寺で盗難にあった仏像の件について

(作元) 韓国の高等裁判所において、観音寺の所有権を認める判決があり、地元住民として安心しているところであるが、相手側が最高裁に控訴するという報道もある。今後、対馬市としての対応は。

(市長) 今後の最終審で観音寺に仏像が戻った折には、一番重要なことは、檀家の皆様の総意のもとで、お帰りなさいという法要の後、対馬博物館へ寄託をしていただいたうえで保管する方法が良いと考える。

◆運動公園の使用、用途等の見直しについて

(作元) 各種団体等の意見も参考にし、大きく将来に向けて見直ししていくと思うが、今後の方針等についての教育委員会の考えは。

(教育長) 教育委員会では、令和3年度から対馬市体育施設適正配置及び活用推進委員会を設置し、各団体より委員を委嘱

し検討をいただいております。今後その結果が答申として示される予定です。

◆漁業振興について

(作元) 対馬の漁業振興または、資源保護という観点で進めていく中、現在、水産庁で大型まき網の対馬近海への進出が検討されていると漁業関係者の情報を聞いているが、市長にも話が届いているか。

(市長) 対馬の基幹産業である水産業においては、近年、水産資源の減少に加え、漁獲規制等、厳しい状況にある中、対馬近海での大中型まき網漁業において、船舶の大型化につながるなど対馬の沿岸漁業にとって、不安材料が山積する現状となっている。このため令和4年11月に水産庁や大中型まき網事業者が、対馬市において関係漁業者に対し、説明会を実施したようであるが、十分納得できる状況ではないため、今後も継続して説明等が進められると聞いている。

(作元) 11月22日に水産庁から全島漁協組合長へ説明した中でも、全会一致でこの件については受け入れることはできない旨伝えていただいている。対馬の漁業を守るために、市も情報収集して取り組んでもらいたい。



伊原 徹議員

◆外国人による土地家屋等の取得実態について

(伊原) 外国人による土地家屋等の取得実態は。

(市長) 令和4年1月現在の土地所有状況は、筆数で212筆、面積で17万2861㎡、地目別では、宅地137筆、6万8916㎡、山林54筆、9万4038㎡、その他の土地で21筆、9907㎡、家屋では220軒、2万9670㎡で農地所有は少ない。

直近5年間の取得状況は、土地110筆の増、家屋は124軒の増となっている。

(伊原) 固定資産税および住民税等、地方税の未収実態は。

(市長) 土地家屋を所有している外国人の税の徴収は、市県民税は100%、法人市民税87・2%、軽自動車税85・6%、国民健康保険税93・3%、固定資産税72・6%である。

固定資産税は市内に住所がない

場合も課税対象となり、自国への帰国など、徴収が困難なケースもある。

令和3年度実績で、国民健康保険税で1件の不能欠損処分を行っている。

◆重要土地等調査規制法に関する本市の対応と考え方について

(伊原) 外国資本による自衛隊基地周辺などの重要な土地の利用規制が制定され、本年2月に運用が開始されたが、本市の対応と考え方は。

(市長) 重要土地等調査規制法については、安全保障上の重要施設周辺の機能を阻害する土地の利用を防止するため、本年2月に運用が開始された。本市には注視区域・特別注視区域19カ所の区域が設定された。

主に防衛関連施設周囲約1kmにおいて、200㎡以上の土地や建物の取引は、内閣府への届出が必要となった。

重要土地利用規制が始まったばかりであり、国からの周知等含めた今後の動向を注視するとともに、国防上の観点から不動産取引に関し、部局内で連携を図り、情報共有をしていきたい。

第1回定例会一般質問

市政を問う



神宮 保夫議員

◆天道茂警察官舎および堀の有効利用について

(神宮) 天道茂にある現在、使用されていない警察官舎を市が購入し、有効活用してはどうか。

(市長) 利用目的のない財産は取得できないが、通学を含む歩行者の安全確保から、何らかの対応ができないかと思っている。対馬南警察署と相談しながら木柵等の撤去などができないか検討する。

◆阿連地区の道路および施設の整備について

(神宮) 阿連地区の海水浴場白浜から阿連小までの道路の整備また、白浜までの歩道を造れないか。

(市長) 河川への下り口は大雨時に越水している状況で、河川に階段、スロープ等を設置することは困難である。また、道路の整備については以前、計画があったものの、土地所有者の同意を得られず未整備となった。

(神宮) 阿連漁港の防風ネットを延長できないか。

(市長) 事業実施に向けた検討は可能と考える。地域の意見集約をしていただき、改めて要望していただきたい。

◆対馬真珠のブランド化について

(神宮) 対馬真珠を対馬ブランドとして売り込んではどうか。

(市長) 同規格、同品質の真珠を一つの生産地で確保することは困難である。高品質の真珠を入札会に出品できるかに注力しており、地区や生産者グループで情報交換し、品質の向上に取り組んでいく。

◆新型コロナウイルス「5類」への移行に伴う、対馬市経済の立て直しについて

(神宮) 新型コロナウイルスが5類への移行が決まったため、厳原の茶屋町で開催していた藤酔い祭りを再開してはどうか。

(市長) 藤酔い祭り等については、厳原地域の飲食店等が主体となり、もう少し計画を立て綿密に検討したらどうかと考える。



大浦 孝司議員

◆対馬におけるまき網漁業の操業について

(大浦) 対馬近海において、中型まき網船の操業は東沿岸8マイル、西沿岸3マイルより外側、大型まき網船の操業は東沿岸10〜12マイル、西沿岸8マイルより外側が操業許可区域である。昨年、全国遠洋まき網漁業協同組合ならびに、水産庁職員同行で対馬へ次期まき網の構想について協議申し入れがあり、今後の方針として、中型から大型へ規模拡大を推進するとのことであるが、その折、大型船の操業を5〜8マイルの範囲から網入れできないかとのことである。

このことについて市長の考えを伺う。

(市長) 対馬西岸における5マイルから8マイルの範囲での操業については、船舶の総トン数の変更の特例に該当する代船建造であれば、現行の省令による西岸3マイルが適用されるもの

と思われるが、対馬沿岸漁業者にとって非常に重要な地域であることから、関係者間の相互理解のもと、慎重に協議すべき問題であると認識している。市として漁獲量は増大させないことに対する条件や確認方法等について、対馬市沿岸側にとって不利益な状況とならないよう、関係機関と連携、調整を図りながら適宜対応に努めていく。



第1回定例会一般質問

市政を問う



脇本 啓喜議員

◆高レベル放射性廃棄物最終処分場に関する市長の所見

(脇本) 高レベル放射性廃棄物最終処分場誘致に関する市長の所見を求めます。

(市長) 市長選挙の際、また、女性団体が要望に来た際にも誘致しないと発言した。現在、対馬市としては誘致に向けた動きは何ら行っていない。対馬市民が青森・北海道を視察していることは聞いていますが、それを止める権限は私にはない。一番望むことは、市民が分断をしないことだ。

(脇本) 文献調査の交付金だけもらい、誘致の拒否は可能と思うか。①旧動燃が秘密裏に島内2カ所でボーリング調査済みで、情報公開請求によって暴いた国側が作成した資料もある。②国は首長の話を聞くが、中止するとの記載はない。住民が反対しても事業強行の可能性は排除できない。③権力の濫用は往々にして起こる。手を下すことを前提に交付金を受け取った後に誘

致反対を国が認めたとしても、従来の交付金削減等、国からのペナルティは覚悟すべきだ。誘致をしない理由も伺う。①積極的に調査を受けるメリットを感じない。②調査を受入れるだけでも一次産業や観光などの風評被害が懸念される。③2007年の対馬市議会誘致反対決議は重い。④地層処分の安全性に疑問がある等が考えられる。また、国から協議を求められたら応じるか。

(市長) 個人的見解と捉え兼ねられないので、発言は控える。

◆市長は人口減少が対馬の最大の課題と仰っているが、その認識は変わっていないか。

(脇本) 人口減少抑制策も大事だが、人口が減少しても持続して住んでいける島を目指すべきだ。

(市長) 人口減少に歯止めをかける特効薬はない。市民の生活の利便性が低下しないよう、総合戦略に掲げた施策等、粘り強く推進し、人口減少抑制策と人口が減少しても持続して住み続けられる島づくりを目指して取り組む。報道等で国が異次元の子育て予算を組むことは承知している。国からの通知があり次第、その



船越 洋一議員

◆再生可能エネルギーの導入について

(船越) 対馬市博物館の屋根に太陽光パネルの設置と蓄電設備を兼ね備えて電力の高騰に備えてはどうか。

(市長) 設計前の段階で、再生可能エネルギーの推進のための太陽光パネルの整備について協議し、10kw〜20kw程度で全体の使用電力の37%程度削減できる計画であったが、柱などの基礎部分を強化する必要がある、事業費の大幅増となるため、断念した経緯がある。

(船越) 開館当初、見込数は6万人程度予定していたが、現在は3万人強であり、また、維持管理費も6千万円程度としていたが、電気代は2100万円くらいで維持管理費の3分の1しかかっている。過疎債か辺地債を利用して改修できないか。

(市長) 最終的にランニングコスト等に経費がかかることで断

念した経緯があり、ご理解願いたい。

◆対馬市猪鹿加工処理施設について

(船越) 平成28年開設以来、現在まで5400万円の赤字が出ているのに、どうして継続してやらなければならないのか。

(市長) 猪鹿対策として進めてきたが、雇用活用事業を活用し、加工施設を民間で構築することが決定したため、市の運営は廃止することで決定した。

◆厳原港国際ターミナルビル内に韓国人旅行支援センターの設置について

(船越) 3年前までは年間41万人の韓国から旅行者があり、経済効果も91億円あったが、本年2月から少数であるが入国が可能となり、順次増加すると思われる。旅行者が安心して安全に観光ができる仕組みを確立する必要があると思うが。

(市長) 重要性は十分認識している。もうしばらく様子を見ながら協議し、今後の検討課題としたい。

第1回定例会一般質問

市政を問う



波田 政和議員

◆本庁機能を有する厳原庁舎の今後の活用に向けての方向性について

(波田) 厳原庁舎の整備について、市長は自身の任期中に方向性を出すと言われているが、残りあと1年しかないが本当に実現できるのか。

(市長) 遅れていることをお詫びする。あと1年で危惧はしているが、スピード感をもって取り組んでいく。

(波田) 今回、市役所厳原庁舎整備等検討委員会が設置され、厳原庁舎の整備方針など方向性について市民など幅広い意見を反映させるため、委員会が開催されると聞いているが、この委員会では本庁舎機能を含んだ検討を行うものなのか。

(市長) 本庁舎機能を含んだ検討をすべきと考えており、今後はスピードアップさせていきたい。

(波田) 仮に厳原庁舎を本庁舎

機能を有した庁舎として新たに建設する場合、財源確保はどのように考え実施していくのか。
 (市長) 現在、8億円の基金積立ができています。今後も計画的に基金の積立を行うとともに有利な補助金なども検討して利用したい。また、現在、市内に分散している行政機能を1カ所に集中させ庁舎を建設する場合、約50億から60億円必要と想定している。その半分30億円ほどは基金積立を予定している。



令和5年度一般会計当初予算 326億6,700万円

令和5年度対馬市一般会計予算が令和5年2月24日及び27日から3月1日までの4日間、予算審査特別委員会(委員長:脇本啓喜 議員)において、令和5年度に各部局で最も取り組もうとしている課題及び課題解決のための施策等の説明を受けた上で審議され、3月15日の本会議で可決されました。

令和5年度当初予算総括表

(単位:千円、%)

会計名	令和5年度	令和4年度	増減額	増減率	
一般会計	32,667,000	31,252,000	1,415,000	4.5	
特別会計	診療所	451,740	449,856	1,884	0.4
	国民健康保険	4,443,736	4,474,106	△30,370	△0.7
	後期高齢者医療	437,502	436,671	831	0.2
	介護保険	3,994,514	3,997,134	△2,620	△0.1
	旅客定期航路事業	45,943	42,146	3,797	9.0
	集落排水処理施設	40,878	23,759	17,119	72.1
水道事業会計	1,608,750	1,636,818	△28,068	△1.7	

※特別会計、水道事業会計については常任委員会で審査
 ※水道事業会計の予算額は、収益的支出と資本的支出の合計額

令和5年度 各部(局)の重点事業



総務部

情報通信基盤整備事業

予算額 98,098千円

民間通信事業者が高度無線環境整備推進事業を活用し、対馬市内全域での情報通信網高度化を図るため、整備する事業費の一部を負担する。

しまづくり推進部

対馬3高校魅力化推進事業

予算額 12,994千円

対馬高校に陸上専門の指導者を招聘し、島内3高校の魅力化を図り、島内進学率を上げ、人口減少の抑制に繋げる。また、生涯学習課と連携してスポーツ教室等の各種イベントに参加し、スポーツの振興等を図る。

観光交流商工部

対馬市壱岐市周遊ツアー送客支援事業

予算額 12,835千円

首都圏等において対馬市及び壱岐市の2島ツアーのニーズが高いことから、壱岐市と連携して旅行社に対する送客支援を実施することで、ツアー造成及び誘客の促進を図る。



市民生活部

海岸漂着物等地域対策推進事業

予算額 300,000千円

海岸漂着物等の円滑な回収及び適正な処理を図るとともに、回収イベント等による発生抑制対策を実施する。

福祉部

(仮称)豊玉認定こども園建設事業

予算額 480,200千円

幼稚園が設置されていない中対馬地区にこども園を建設し、保護者の就労等の有無に影響されることなく、教育・保育を行い、充実した子育て環境を整備する。

保健部

健康運動コーディネーター事業

予算額 5,229千円

自主的に介護予防を実施するグループ等を育成・支援をすることで、高齢者が介護予防認識を習慣化し、早期に取り組むことを推進、また高齢者が運動場面で親しい人間関係を作っていくことをサポートする。



農林水産部

離島漁業再生支援交付金事業

予算額 395,801千円

漁業集落が離島漁業再生のために行う漁場の生産力向上に関する取組などを支援するほか、新規就業者に対する漁船リース料や雇用機会の拡充に要する経費を支援する。

建設部

市道改良事業

予算額 2,074,600千円

本事業により、車両通行の安全確保及び地域の産業経済の活性化を図る。

★尾浦浅藻線改良事業 1,652,000千円 ほか13路線

中対馬振興部

光を活用したキャンプ客誘客事業

予算額 2,500千円

神話の里自然公園で竹を用いたライトアップを実施。ライトアップ期間中のキャンプイベントで地元食のPR、SNS発信を行い、キャンプ客の誘客、地域観光の活性化に繋げる。



上対馬振興部

対州馬活用プロジェクト事業

予算額 2,300千円

日本在来馬8種の1種で希少価値のある対州馬の魅力を生身近な市民及び全国の対州馬に関心がある方々に認知させ、対州馬のブランド力強化を図るためシンポジウムを開催する。



教育委員会事務局

豊玉総合運動公園野球場トイレ新築事業

予算額 50,800千円

供用開始後27年が経過した豊玉総合運動公園野球場に設置されているトイレは、地盤沈下が原因で配管等に歪みが発生しているため、トイレを新築することで利便性を図り、施設利用を促進する。

消防本部

消防署支署建設事業

予算額 283,560千円

消防署中部支署は、本市中部地区の消防防災として設置しているが、築後45年を経過し老朽化していることから、現在の消防救急需要に対応する施設機能強化を図るため、訓練棟を備えた施設に更新する。

※その他の事業につきましては、5月に全世帯へ配布します『対馬市のしごと』をご覧ください。

壱岐市議会と合同で長崎県へ要望書提出

令和4年11月18日に改正離島振興法が成立し、「高速度で安定的に航行することができるもの、その他の船舶の新造及び更新に対する特別配慮規定」が明記されました。このことを機に、老朽化が進むジェットフォイル更新問題等について、対馬市議会、壱岐市議会の国境離島活性化推進特別委員会が主体となり要望書を取りまとめ、大石知事に提出しました。

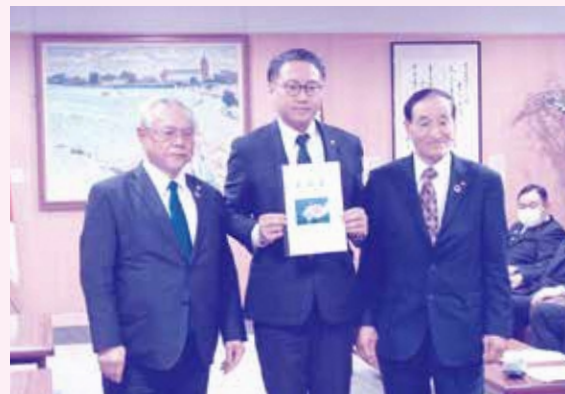
日時・場所 令和5年2月14日(火) 17:00 長崎県庁

要望先 長崎県知事

要望事項

- 1 離島航路におけるジェットフォイルの更新について
- 2 バンカーサーチャージ補助について
- 3 対馬空港・壱岐空港の整備について

【要望書】



(初村議長) (大石知事) (壱岐市 豊坂議長)



議会広報編集特別委員会行政視察

日時

令和5年1月26日(木)～1月27日(金)

視察先

雲仙市

内容

議会だよりの作成について

今回の視察先の取組を参考に、今後も見やすく、読みやすい議会だよりを目指します。

【報告書】



所管事務調査報告

総務文教常任委員会

委員長 上野 洋次郎

本委員会は、令和5年1月30日に、「対馬市立小・中学校特別支援学級の現状と課題について」所管事務調査を行いました。

今回の調査では雞知中学校、厳原小学校において校長より説明を受け、その後、意見交換を行いました。

雞知中学校は全校生徒数193人に対し、特別支援学級の生徒は11人であり全体の5・7%で、特別支援学級の生徒が全校生徒数に占める割合は、年々、増加傾向であります。

障害の程度や特性等が異なる生徒へのきめ細かい支援をしていくためには、人的資源の確保・充実、指導者の専門性の向上が必要である等の意見がありました。

次に、厳原小学校は全校児童数248人に対し、特別支援学級の児童は15人であり全体の6・0%で、特別支援学級の児童が全校児童数に占める割合は、年々、増加傾向でありましたが、令和3年度からは横ばいの状態であります。

日々の業務に追われ、教材研究やきめ細やかな指導に充てる時間が少ないことが課題であり、介助員の更なる配置により時間的にも余裕ができる等の意見がありました。

最後に、教育委員会事務局から対馬市立小・中学校全体の特別支援学級の現状と課題について説明を受けました。

小・中学校とも、児童生徒数は年々減少していますが、特別支援学級在籍児童生徒数は増加傾向であり、市内のほとんどの小・中学校で特別支援学級が設置されています。そのような中、多種多様な児童生徒への対応が求められるなど、教育的ニーズへの対応に限界があること等が課題であるとのことでした。

介助員の不足について、委員からは、介助員は日額会計年度任用職員であり、通勤手当の支給等労働条件の改善が必要であるとの意見がありました。対馬の子ども達の健全育成及び特別支援教育の充実のため、処遇改善についての制度見直しを検討いただき、介助員が働きやすい環境を整えていただくことを望むものであります。



雞知中学校で説明を受ける



対馬市役所厳原庁舎で説明を受ける

産業建設常任委員会

委員長 春田 新一

本委員会は令和4年12月20日、上対馬町比田勝のカミレイ施設への小型まき網船の荷捌き場新設要望について、所管事務調査を行いました。

まず、本計画は6者を構成員とする(仮称)上対馬水産センターを設立する予定で、2漁協の組合長を共同代表とする。これま

所管事務調査報告

での経過について、関係者と対馬市において複数回の協議を重ねているが、本件の要望書については素案が提出された段階で不透明な要素が多数あり、関係6者の意思統一が図られていないことから正式な要望書として提出には至っていない。現段階では実施主体について検討すべき材料が不足していることから、事業主体たる関係者間の意思統一を図る必要がある。また、地元との調整も必要な問題であり、幅広い関係者間での慎重な議論が必要であると説明を受けました。

次に、令和5年2月1日に、対馬博物館と近隣の観光施設の状況等及び対馬観光物産協会との連携について、所管事務調査を行いました。

現地視察では、観光案内板の設置、対馬朝鮮通信使歴史館横の駐車場の整備を早急に取り組んでもらいたいと意見が出ました。対馬博物館の運営状況と今後の課題については、当初、来館者を6万人見込んでいたが、実際は令和4年12月末で3万957人であった。課題としては学芸員の不足があると説明を受けました。近隣の観光施設との連携については、4施設を一つのチケットで周遊できるパンフレット型のチケットを販売し、連携を図ります。

次に観光物産協会との連携について、観光物産協会は観光、物産関係事業、受け入れ態勢事業等、市と連携して進めていると説明を受けました。



対馬市役所厳原庁舎で説明を受ける



対馬朝鮮通信使歴史館で説明を受ける

編集後記

コロナ禍が少しは下火になり、3年以上続いたマスク生活も3月13日から自由になりました。暗いトンネルから抜け出してみんなも笑顔になり、何かが始まりそうなワクワク感があります。桜も咲き、河川の柳も青々と芽吹き出して緑のシャワーのようです。満開の玄海ツツジで野山も明るさを増してまいりました。待ちに待った春の訪れです。

私達、広報委員も、もうすぐ2年になります。市民の皆様が少しでも読みやすい議会だよりを作ろうと、他の市の議会だよりを取り寄せ、参考にしながら広報委員一丸となって頑張っております。市民の皆様も議会だよりに対するご意見がございましたら、どしどしお寄せくださり、よりよい議会だよりができますようご指導ください。今後も皆様に親しまれるような議会だよりを作るよう頑張ります。まいります。

(文責・入江有紀)



議会広報編集特別委員会

【委員長】小島徳重 【副委員長】陶山莊太郎
【委員】島居真吾・入江有紀・上野洋次郎